

令和3年度 第1回 くるめ支え合うプラン推進協議会 議事要旨

開催要領

- 1 日 時 令和3年8月31日（火）～令和3年9月10日（金）
- 2 開催方法 書面開催

次第及び委員意見

- 1 報告事項
 - (1) 令和2年度 第3回 協議会 議事要旨
 - (2) 重層的支援体制整備事業の現状
 - (3) 令和3年度支え合うプラン取組推進事業の実施について
- 2 協議事項
 - (1) くるめ支え合うプランの見直し（市再犯防止推進計画の策定）について

【主な委員意見】

- 主に重層的支援体制整備事業部分（主に資料4の部分）
 - ・資料4の頁4行図：「男女共同参画行動計画」を追加できないか
 - ・資料4の頁40行7：どのような情報を提供すべきか、わかりやすく記載できないか
 - ・資料4の頁49行12：「連携強化」をわかりやすく記載できないか
- 主に市再犯防止推進計画部分（主に資料5の部分）
 - ・犯罪や非行をした人が地域で過ごせる居場所が必要ではないか
 - ・更生するためには、本人の強い更生意欲と共に周囲の理解と協力が必要ではないか
 - ・偏見や差別に対する課題意識を持ち、それらをなくす取組みが必要
 - ・犯罪被害者やその家族に対する支援の視点も必要ではないか
 - ・再犯防止に関する支援は、各機関・団体で行われているが、どのような支援ニーズや資源、支援制度等があるのか分かりにくい
 - ・孤立が要因となる場合もあるため、予防的視点、再犯防止の視点から、気になる人や支援を必要とする人の早期発見が必要ではないか
 - ・分野を超えた地域での見守りの強化が必要ではないか
 - ・相談につながった後は、チーム支援が有効であり、重層的支援会議等の機能が十分に発揮できるよう、重層的支援体制整備事業を進めていくことが必要

ではないか

- ・ 支援につないで終わりではなく、その後を見守る必要があるのではないか
- ・ 何が「適切」な支援なのか、判断が難しく、支援者側の適切な支援と本人の希望にズレがあることもあるということに留意しておく必要があるのではないか
- ・ 刑務所での服役に至らない人を福祉の面から支える支援も必要ではないか
- ・ 就労や居住支援を円滑に行えるよう、契約時の身元保証や後見についても協議を行う必要があるのではないか
- ・ 支援の内容が本人と合わず、支援者と本人との関係がうまくいかないこともあるので、「つなぎ直し」についても検討する必要があるのではないか
- ・ 現状が分かる資料（再犯者の割合が上昇傾向にあることを示すデータ等）や連携先の図等を掲載できないか
- ・ 市民に伝わるよう、例示や注釈を追加できないか
- ・ 連携先や支援策を具体的に記載できないか
- ・ 市再犯防止推進計画を策定する背景や趣旨、基本理念等を記載できないか

3 その他

【主な委員意見】

- ・ 今後、高齢分野のみでなく、子育て分野にも地域での支え合いの取組みを広げたい
- ・ 再犯防止については、広報久留米でも取り上げて欲しい
- ・ 本人の思いや意見を尊重すること、一生活者として相手に接することが重要ではないか
- ・ サービスが充実することで、ひとり立ちを阻害している場面がある
- ・ 計画やサービスは、作る側のいいものと、使う側のいいものには差があるように感じる
- ・ 誰もが久留米の現状や課題を知り、考える機会を持つことが、未来の久留米を作っていくことにつながると考えるので、くるめ支え合うプランの市民全体への広がりを期待する
- ・ 相談できない人へのアウトリーチを進めて欲しい
- ・ 同じような経験・体験を持つ人同士（ピア）のつながりは課題解決に有効なので、このような活動を促進するために、有償ボランティア制度を設けて欲しい
- ・ 相談支援体制の連携を強化するためには、各分野の専門職へ、重層的支援体制整備事業を周知する必要があるのではないか
- ・ 委員が顔を合わせて、意見交換をする方が有意義な場になると感じる